

校長室の窓から **No.51**

☆☆☆☆五城目町立五城目小学校 校長室だより 平成 29年7月10日 (月)

○創立(143周年)
明治7年5月7日
○児童数 280名
(H29.7.1日現在)
○教職員数 45名
文責:校長 戸部裕隆
※スマートフォン
からもご覧に
なることが
できます。



「睡眠・休養・食事・運動」 は十分ですか？

早いもので1学期も折り返し地点を過ぎ、いよいよ今月23日から8月23日まで、長い夏休みに入ります。保護者の皆様におかれましては、これまでのお子さんの学校生活・家庭生活の状況はいかがでしたでしょうか。

特に、はじめて小学校のPTA会員になられた皆様にとっては、「早寝・早起き・朝ごはん・生活リズムは全ての基本」を念頭に生活リズムの安定化を図るため、家族ぐるみで協力し合うことが多かったのではないかと思います。また、継続会員の皆様にとっても学年が一つ上がった喜びと同時に、お子さんの自立につながる子育てに頑張ってきたのではないかと感じているところです。皆様のご理解とご協力によって、「チーム五小」を掲げる本校教職員もまた、めざす子ども像「かがやく子(知) やさしい子(徳) 明るく元気な子(体)」に向かって日夜、勤しむことができた心から感謝申し上げます。

ところで、4月から夏休み前の21日まで、学校を1日も休まない子どもは、1年生で71日、2・3・4年生は72日、5・6年生は73日、授業に参加することになります。スポーツやお稽古事の世界では、練習を1日休むとその後追い付くまでに3日、3日休むと1週間、1週間休むと1か月以上もかかるとよく言われます。もちろん、熱があるのに我が子を無理に登校させるようなことはあってはなりません。4月の様子からみて今、あなたのお子さんの体の様子はどうでしょうか。五小っ子の中には、朝食抜きだったりパンのみお菓子のみで済ませたりしてきたと話す子どもも若干います。まして、連日の蒸し暑さです。お子さんの脳をしっかりと働かせるためにも、どうか引き続きお子さんの十分な睡眠と休養、そしてバランスの取れた朝食の摂取等、各家庭での過ごし方をご確認くださいようお願いいたします。

「傾聴・対話」を意識した夏休みを

言うまでもなく、子どもの発達の過程には個人差がありますし、4月生まれの子とも3月生まれの子ともでは、単純に考えても約1年の差があります。とかく私たち大人は、目の前の子ども(子どもたち)を他の子どもと比較して優れているとか劣っているといった視点で評価してしまいがちです。しかし、そうした視点で子どもと対話したりコミュニケーションをとったりすることは、子どもの健やかな成長に決してプラスに働くことはないでしょう。子どもの発達のスピードは十人十色であるということを再認識した上で、大人は目の前の子どもと向き合っ

いくこと、どの子どもも学んで獲得した知識や技能を自分なりに生かして生活しようとしていること、子どもは未知の世界を知りたがっている体験したがつていることなどを忘れてはならないでしょう。

有意義な夏休みを過ごすための10か条

- 1 家族の絆はあいさつから
- 2 会話がはずむ明るい家庭
- 3 早寝・早起き・朝ごはん
- 4 食事は家族そろって
- 5 ルールを守ることは家庭から
- 6 自立につながるお手伝い
- 7 毎日の運動で心と体の鍛錬
- 8 家庭学習・自由研究で学ぶ喜び
- 9 地域や人とのつながり
- 10 読書は心の栄養



1ヵ月余り続く長い夏休みをどのように意識し、どのように使っていくのか、その過ごし方がとても大切なものとなります。だからといって、私たち大人が生真面目に考えすぎてしまうことは要注意です。意識しすぎて、子どもとよく話し合わないまま親が「あれもやらせたい、これもやらせたい」と勝手に予定を組んでしまい、かえって子どもの生活リズムや子どもの可能性を損ねてしまったという声も時々耳にするからです。

自宅から遠く離れた非日常的な体験をすることも一理ありますが、どこそこに出かけなくとも家でお手伝いや勉強をしたり、スポ少などで運動したりする日常生活で何かに気付き、疑問をもち、兄弟や親子で調べて確かめるようなことにも目を向けられるようになったら素敵だと思います。

今年の夏休みも、保護者の皆様には「有意義な夏休みを過ごすための10か条」を念頭に「傾聴・対話」を意識して、お子さんの夏休みのプランが実行できるよう応援して下さることを願っています。

放課後・休日のクマ対策を

9日(日)に五城目城や学校付近でクマが出没したそうです。学校では10日(月)、校内放送や各学級で児童に注意を促しました。ご家庭でも放課後や休日に一人で出かけない、一人で遊ばないなど、各家庭・町内での対策をお願いいたします。